

な は みなと

第 31 号

目次

1	クルーズ船の那覇港への寄港数は国内トップクラス！！	・・・ 1
2	組合議会がベトナムの港湾を視察しました	・・・ 4
3	那覇港とぴっくす（那覇港の動き）	・・・ 5
4	那覇港写真館	・・・ 6



クルーズ船の那覇港への寄港数は国内トップクラス！！



クルーズ船の寄港地として、那覇港が国内有数の人気の港であることをご存じですか？

コロナ前の 2019 年には、年間寄港数 260 回を記録し、クルーズ船5隻同時接岸が可能な横浜港を押さえて国内 1 位になりました!! その年の年間乗客数は 67.6 万人に上り、那覇市の人口の2倍以上がクルーズ船で那覇港を訪れたこととなります。その結果、クルーズ船の寄港は、那覇市のみならず沖縄県全体に大きな経済効果をもたらしました。

また、2023 年2月に那覇港新港ふ頭で第2クルーズバースの供用が開始されたことにより、23 万トン級の世界最大規模のクルーズ船も寄港できるようになりました。現在は、第2クルーズバースのターミナルビル整備に向けた取り組みを進めています。若狭バースと第2クルーズバースでクルーズ船2隻の同時接岸も可能となり、近い将来、2019 年の寄港数 260 回を上回るクルーズ船の寄港が期待されています。

那覇第2クルーズバースで MSC ベリッシマの那覇港発着クルーズが開始されました！

第2クルーズバース供用開始を機に、2024 年1月～3月に大型豪華クルーズ船、MSC ベリッシマによる那覇港発着クルーズが開始され、2024 年 11 月～2025 年1月にも運航が予定されています。発着クルーズは、寄港型クルーズよりも乗客の滞在期間が長くなり大きな経済効果が見込まれることや、県民にも利用しやすくなるため、地元メディアにもそのニュースは大きく取り上げられました。そこで今回は、その巨大な家族向け豪華客船、MSC ベリッシマの船内とその魅力をご紹介します。

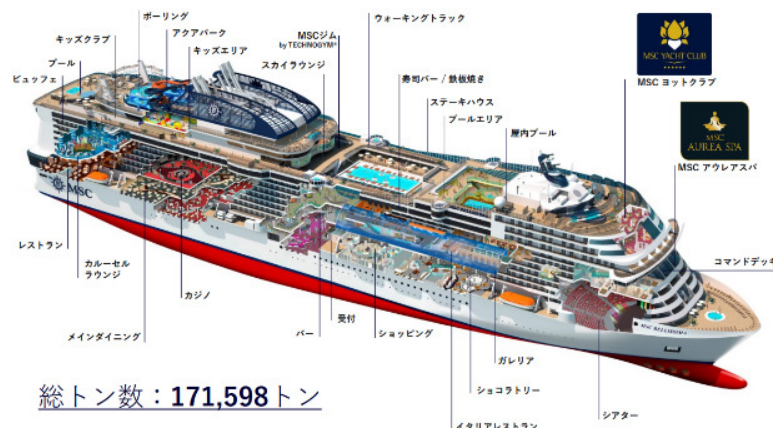
★MSC ベリッシマは、日本発着クルーズを行う客船の中で最大級！！



(那覇第2クルーズバースにて撮影)

MSC ベリッシマの諸元

船種:スタンダード客船
全長:315.83m
幅:43m
総トン数:171,598トン
船籍:マルタ
デッキ数:15 (スタッフ用デッキを含めると 18 デッキ)
客室数:2,201
最大乗客数:5,655 人
乗組員数 1,595 人
船名の由来:ベリッシマとはイタリア語で「最高の美」を意味し、イタリアの大女優ソフィア・ローレンが名付け親

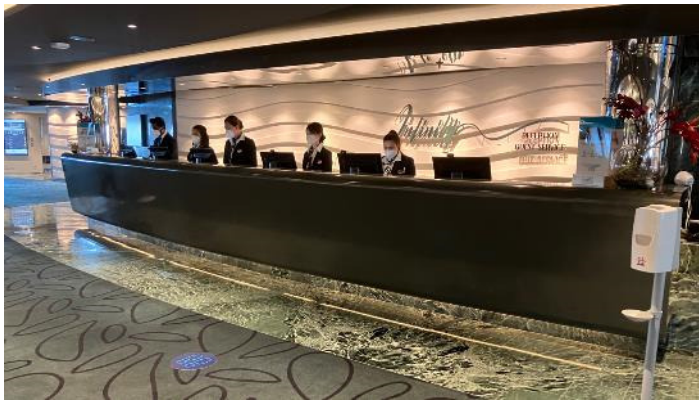


総トン数: 171,598トン



スイートキャビン

1ランク上の上質なキャビンでゆったりとした船旅をお楽しみいただけます。ジャグジー付きのキャビンを選択して湯船に浸かりながら海を眺めれば、至福の時間が流れていくでしょう。



【レセプション・カウンター】

MSC ベリッシマに乗船すると、まず高級ホテルのような豪華なレセプション・カウンターが目に入ります。ここから、夢のようなクルーズの旅が始まります。

船内で、何か分からないことや困りごとがあれば、コチラで相談することができます。



【ガッレリア・ベリッシマ】

2層吹き抜けで長さが96メートルもあるガッレリア・ベリッシマは、ブティック、バー、高級ブランドの専門店などが軒を連ねる豪華ショッピングプロムナードです。このメインストリートでは、まるで外国にいるような気分でショッピングが楽しめます。ドーム型天井の全長80メートルのLEDスクリーンには、最新技術で華やかな映像ショーも24時間上映され、訪れる者を飽きさせません。



【インフィニティ・アトリウム】

3層吹き抜けのシルバーを基調にしたインフィニティ・アトリウムはとても豪華でスタイリッシュ！豪華客船ならではの息をのむような光景に魅了されるに違いありません。このインフィニティ・アトリウムで最も注目すべきポイントは「階段」です。あの有名な「スワロフスキー・クリスタル」が1段ごとにちりばめられた、キラキラと輝く階段があり、船内の絶好の撮影スポットになっています。

そのような豪華な階段が船内に6箇所も設置されています。すべての階段に使用されたスワロフスキー・クリスタルの数は約6万個というから驚きです！ エントランスとしてだけでなく、エンターテイメントやピアノ演奏も行われる、船内のメインスポットです。



【ロンドンシアター】

1,200 人収容のこの劇場で、毎晩エキサイティングなショーやさまざまな音楽のライブ演奏が楽しめます。オリジナルショーではアクロバティックな演目も楽しめます。贅沢な内装と最先端の音響・照明システムを駆使した、ダンス、歌、演技が見事に調和した圧巻のパフォーマンスが、観客を魅了します。



【ワイン専門店】

ワイン愛好家にとっては、たまらないワイン専門店。世界各国のワインがここで味わえます。



【おしゃれなバー】

船内のいたるところにある、様々なバーやカフェでくつろぎのひとときをお過ごしください。



屋外ウォーターパーク、キッズ専用エリアに加え、12 の国際色豊かなダイニングレストランと 20 のバーなどがあり、1 度の航海だけでは MSC ベリッシマのすべてを楽しむことはできないでしょう。同船の全天候型、開閉式の屋根を備えたプールやジャグジーで、季節を気にせずクルーズの旅をお楽しみいただけます。

さらに、すべての年齢層が楽しめる船内の様々なアトラクション、お子様の年代に合わせたキッズクラブ、大人のためのラウンジや 100 種類以上の料理を楽しめる 20 時間営業のビュッフェ、屋外のスパやジム、ウォーキングトラックなどもあり、船内で暇をもてあますことはありません。有料のスペシャリティ・レストランでは一流のシェフが腕を振るって作る世界各国の料理も楽しめます。これらの素晴らしい施設は、どれをとってもゲストの旅を忘れることのできないものにするでしょう。

また、各寄港地ではその地域の素晴らしさを体験できる寄港地観光ツアーも用意されています。ぜひ、那覇港発着の MSC ベリッシマで生涯忘れることのできないクルーズの旅へお出かけください!!

組合議会がベトナムの港湾を視察しました

那覇港管理組合議会(仲村家治 議長)では、令和6年11月20日から11月22日までの日程で、ベトナム社会主義共和国の南部・ホーチミン市近郊にあるロングウック工業団地、タンカン・カイメップ港(TCIT)を視察しました。

(1) ロングウック工業団地

日系企業とベトナムの国営企業が合同で運営している工業団地で、空港や市街地からのアクセスも良い環境にあります。広大な土地にインフラを整備し、多くの企業に利用されているとのこと。議員より、沖縄との関わりや海外の製造拠点の動向など、様々な質問があり、その後、現場視察も行いました。



同工業団地の開発総面積は 270ha(那覇港の臨港地区の陸域面積は約 262ha)

(2) タンカン・カイメップ港(TCIT)

カイメップ川とチーバイ川の流域に面しており、当該河川沿いには他にもターミナルが整備されています。TCITは其中でも代表的なターミナルとして、取扱貨物量が右肩上がりで増加しており、近年はクルーズ船の寄港もあるとのこと。意見交換の後、港湾の岸壁等を視察しました。



クルーズ船が寄港していました



巨大なガントリークレーン

(議会事務局)

11/1(金)

11月に初寄港したクルーズ船



•オランダ船籍の豪華クルーズ船、ノールダム (NOORDAM)号(総トン数 82,318トン、全長 285.24m、乗客定員数2,366人、乗組員数 811人、乗客用デッキ数11階)が、初寄港しました。

•この船は内外装をシックにまとめ、エレガントで落ち着いた雰囲気を楽しめるのが特徴です。船名の「ノールダム」はオランダ語で「北」を意味します。北の欧州から多くのクルーズ客を乗せ、日本の南・那覇港に初寄港したことをうれしく思います。

11/21(木)~22(金)

12th沖縄大交易会2024



•日本最大級の国際食品商談会「沖縄大交易会」に、那覇港振興協議会・那覇国際コンテナターミナル(株)・(株)那覇港総合物流センターの3者合同でブースを出展しました。

•港湾施設・サービスや航路情報をはじめ、那覇港利用のルート転換で最大100万円が補助される「那覇港輸送効率化支援事業」等支援制度のPRを通じて、国内外の多くの事業者と活発に意見交換し、那覇港の利用促進と認知度向上を図りました。

12/15(日)、22(日)

那覇港が「ウチナー紀聞」で取り上げられます!



琉球放送 (RBC)

おきでん百添アワー「ウチナー紀聞」

人流編 (前編) : 12月15日 (日) 11:00~

物流編 (後編) : 12月22日 (日) 11:00~

本土復帰からの沖縄で、私たちの生活に関わるインフラが、いかに整備され、今の沖縄があるのか、シリーズでお届けしている「うまんちゅの半世紀」。
第三章のテーマは「道」です。

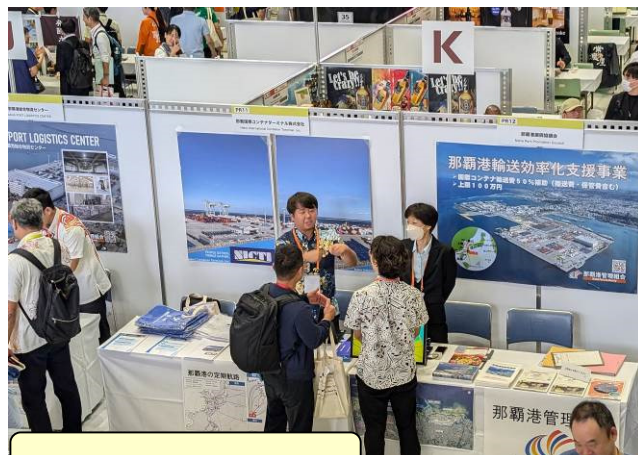
陸の道、海の道、空の道。その道を人や物が行き来し、沖縄は成長してきました。
前編は人流編、後編は物流編として、2週にわたって放送されます。

クルーズ船や貨物船、そして那覇港や那覇港管理組合の概要も紹介されますので、ぜひご覧ください!

那覇港写真館



ノールダム号の歓迎セレモニー



大交易会で那覇港をPR



MSCベリッシマが寄港する第2クルーズバース

***** 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先 *****

那覇港管理組合 総務部 総務課

〒900-0035 那覇市通堂町2番1号

TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp